

## 平成 28 年度 兵庫県・神戸市調整会議 議事要旨

日時：平成 28 年 12 月 1 日（木）13：30～15：00

場所：兵庫県公館 第 1 会議室

### 1. 知事 開会あいさつ

第 1 回目の神戸市と兵庫県との調整会議である。どういう運用をするのか、我々が調整会議の中身を作っていくので、よろしくお願ひしたい。

県と市の懇談会(兵庫県・神戸市連絡会議)を春にやっているのので、この調整会議を秋にすると、少なくとも年 2 回は顔を合わせることになるので、よろしくお願ひする。

課題は幾つかあるが、大きく言うと、神戸市も今回の国勢調査で人口が減ってしまったという状況を踏まえ、やはり地域創生をどのように具体的に進めていくかということが大きな課題である。一方で、神戸市は来年の 1 月 1 日、神戸港開港 150 年を迎え、また、兵庫県も再来年の、2018 年 7 月 12 日に兵庫県設立 150 周年を迎える。ある意味で、港と軌を一にして歩んできたのが兵庫県であり、そのような意味で、節目の年を相携えて迎えながら、未来に筋道を立てて、未来を切り拓いていくという意気込みで臨んでいきたいと考えている。

個別の懸案事項は色々あるが、今日議論いただくとしているのは、ある意味で差し迫った当面の課題だと受けとめたらよいのではないかと。特に私どもの関心は、三宮の再開発、それから六甲山の再生である。私はいつも六甲山の再生は阪神・淡路大震災の復興問題だと言っている。それは何故かという、どうしても人々の生活優先で復旧・復興を進めてきたので、寮や保養所が多い六甲山の再生にまで施策があまり及ばなかったのではないかと。だからこそ、県・市が力を合わせて推進を図っていかなければならない。

それから、中小企業対策も大変重要である。去年の 9 月県議会において議員提案で中小企業振興条例が制定されたが、中小企業対策については県と市で一体的に臨んでいきたい。政策ツールをできるだけ統一しながら進めていきたいと考えている。産業活性化センターを神戸市の施設に移し、同じ場所で執務をすることによって、ワンストップで相談に応じる体制、両者が力を合わせて同じ方向で支援をしていく体制を作らせていただく。これも県市協調であり、言うまでもなく、新長田に合同庁舎を建てるのも県市協調であり、例を挙げるとまだまだあるが、これからもこの路線を拡充していくという基本方向で臨ませていただく。

今日は当面の課題について、議長、副議長にも参画いただいてディスカッションができるということで大変期待している。冒頭、期待を述べさせていただいて、私の挨拶とさせていただきます。

### 2. 市長 開会あいさつ

神戸では明日からルミナリエが 11 日まで 10 日間開催される。大変慌ただしい季節になってきたが、井戸知事をはじめ、兵庫県幹部の皆様方、また藤田孝夫議長、藤本百男副議長におかれては、神戸市政の進展のため日頃からご支援をいただいていることに感謝を申し上げたい。

この調整会議は改正地方自治法に基づく会議であり、県会、市会の議長、副議長が参画される形で県・市の懸案事項を議論することは大変意義深い。有益な成果が出せればと考えている。

知事が人口減少のことについて触れたので、感じていることを少しだけお話すると、兵庫県も人口

減少になる、神戸市も人口減少になるという中で、各自治体が人口の奪い合いをするということは避けなければいけない。政策で競い合うのは良いが、給付行政や負担の軽減を図ることばかりで競争して、人口の奪い合いをすることはやめるべきだと考えている。神戸はある意味で大都会であり、神戸の大都会の中で疲れた方がよりゆとりのある暮らしをしたいということで、兵庫県内の他の地域に移り住むということは十分あると思う。少し前のことだが、三宮駅の駅前で兵庫県内のいくつかの自治体が、神戸から移住してくださいということでブースを作ってキャンペーンをしていた。そこに私は激励に行ったのだが、そのようなことは大いに結構だと思う。

同時に、大阪もそうだが、特に東京から神戸に移り住んでいただく、定住、移住していただく取組をしなければいけない。そして、そういうことを県と市が協調して、他の市町も一緒にスクラムを組んで、兵庫県内の自治体に移り住んでいただくための取組を、県と基礎自治体が政策を組み合わせながら練り上げていくということ、そういう視点が重要ではないかと感じている。

それから、六甲山の活性化はインバウンドとも結びつけながら進めていく必要がある。すでに兵庫県と神戸市でプロジェクトチームが作られており、このプロジェクトチームの検討作業を加速させるような形で、今日は議論を行っていただければと思っている。

神戸市の事業については、例えば、湾岸道路の西伸部の延伸や新長田での合同庁舎の建設をはじめ、色々な面で兵庫県からご支援をいただいている。二重行政の解消についても目に見える成果が上げられてきた。平成 27 年度から実質的に東京事務所を一体的に運用するということが、神戸市の東京事務所を兵庫県の東京事務所に移転させていただき、円滑に業務が行われている。また、神戸市のシアトル事務所を廃止し、兵庫県のワシントン州事務所に職員を派遣するという形で、これも一体運用が海外で行われている。海外進出については、貿易センタービルの中にジェトロと兵庫県のひょうご海外ビジネスセンターと神戸市の海外進出支援センターが一つのフロアで一体的に運用されている。さらに、兵庫県の産業活性化センターが神戸市の産業振興財団と同じ建物に移転し、これも連携をとりながら運用するということが、他の県、市にはないような取組も行われている。二重行政の解消ということで単に効率化を図るだけではなく、県民・市民サービスが実質的に向上するような、そのような視点で業務を進めていきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

### 3. 意見交換

#### (1) 新長田の活性化

(県議会議長)

新長田の新庁舎の件で提案だが、最近スーパーマーケットのウォルマートでグリーター制度が復活した。グリーター制度とは挨拶する人という意味で、総合受付と言えるかと思う。巨大店舗で万引き率が全売り上げの 1.4% ぐらいある。そこで、クレーム処理も含め、まず来店者に声を掛ける。クレームを言おうと思った人も、知っている人や老人から声を掛けられると、非常に精神的にも和らぐということである。

県民や市民の目線を見た時に、庁舎の中が複雑だったり分かりにくかったりするのであれば、今後の業務の効率化や改善も含めて、どこに行ってもどうすれば良いのかということを経営で案内できて、なおかつ挨拶することで、来庁者の気持ちが精神的にも、気分的にも良くなるということがあるので、総合受付の業務のあり方として提案できればと考えている。

それと、新庁舎の敷地は思った以上に奥まったところであって、今後の発展を考えれば、神戸市

と県の庁舎が移転することで土地の有効な活用が進むような長期的な目標設定が必要ではないかと考える。

(市長)

議長からのご指摘は大変重要である。やはり来庁者に気持ちの良い対応をしなければいけない。神戸市では来庁者を案内するコンシェルジュのような係を全区役所に配置している。私はこのところ区役所を回っており、今日北須磨支所に行ったが、玄関に入ると必ず案内する係がおり、特に高齢の方にはどんなご用ですかと声を掛けて案内している。神戸市の各区役所における経験を踏まえ、議長から提案のあったウォルマートの取組等も参考にしながら、より気持ちのいいサービスをしていきたい。

(県議会副議長)

議会の中の話題の一つとして、長田周辺の建物はだいぶ復興したが、やはり、緑が少ないのではないかという話がある。数値的に見ても、市内でも長田周辺の緑化率が低いという話もよく聞く。賑わいを取り戻すということと、気持ちよく庁舎にも訪れていただきたいという話も出ており、やはり緑化を進めていただきたい。ただ、新庁舎の土地はかなり狭いようで、緑化をする場所がないということもあるかと思うので、壁面或いは屋上緑化も含めて是非検討してほしい。

(市長)

新庁舎は非常に良いデザインだが、もし足りないとすれば緑化である。壁面緑化ができるかどうか分からないが、やはりできるだけ緑に配慮したデザインにするよう私も指示した。

それから、新長田の問題は、縣市合同庁舎が建ったらそれで終わりということではなく、佇まいとか景観の面でももう少し配慮する必要がある。長田区長と意見交換した時にも言ったが、例えば地下通路が新長田の地下鉄の駅からずっと伸びており、その掲示物とかデザインが相当古くなっている。これは震災の記憶を残しているものでもあり、変えるかどうかということについては議論が必要だが、地下にも緑をもっと置くべきだと考えている。

それから商店街についても、先日三宮にパークレットを設置し、道に花壇を置いたり、テーブルを置いたり、スツールを置いたりしている。このような取組を新長田の商店街の中でもできないか。ちょっと佇まいが違うが、商店街はかなり幅があるので、花壇とか花や植木を置けないかという議論をしている。さらに、歩道とか街路樹の改良といったことについて、副議長がおっしゃったように、長田は緑化率が低いので、その点を少し面的に考えられないか検討していく。

## (2) 六甲山の活性化

(市会議長)

井戸知事からも六甲山の活性化について力強い言葉をいただいたが、六甲山、摩耶山の活性化は、神戸が進めている滞在型観光において大きな役割を持たせていかなければならない。

一つは、六甲山は企業保養所や便利施設等が閉館し、かなり空き家になっているので、そういう施設をいかに有効に活用していくかということが、六甲山の活性化における施設面での大きな課題である。少し内容が違うが、釧路市では、市と観光協会、ホテルなどが一体となって長期滞在型の保養や、大学生の夏場のスポーツ合宿等での利用、家族向けに一週間くらい長期に滞在してもらう

という取組を行っている。六甲山でも、閉館している企業保養所などをうまく活用すれば、活性化に大きく役立つのではないかと考えている。当然、そのためには細かい規制の緩和を大々的にやっていくということも必要だと考える。

それからもう一つは、六甲山だけではなく、摩耶山の活性化も重要である。今朝、摩耶ケーブルと六甲ケーブルに足を運んできた。午前 10 時頃でも若い女性のグループがすでに来られているなど、数は少ないが、摩耶山や六甲山を楽しんでいただいているなどと思った。ただ残念なのは、六甲ケーブルや摩耶ケーブルへの交通アクセスが弱い。摩耶ケーブルには坂バスや神戸市バスが走っており、六甲ケーブルにも阪神御影や阪急六甲から神戸市バスが走っているが、インバウンドも含め、国内外の観光客の皆さんに神戸の夜景を楽しんでもらうのであれば、今の交通アクセスだけでは不十分だ。

北海道の函館では、函館山への交通アクセスについて、120 人乗りの大きなケーブルもあるが、バスが各ホテルを巡回して観光客を乗せて函館山上に運んでいる。これはおそらくホテルや観光協会、函館市などが連携して、そういうアクセスを整備しているのだろうと思う。神戸でも中心市街地の三宮から摩耶ケーブル下までは大体 25 分くらいあれば行ける。市内にもホテルが沢山あるので、県と神戸市、ホテル業界、それから旅行会社等の関係機関が連携し、交通アクセス問題を是非解決していただきたい。これが実現すればかなりの数の観光客が摩耶山や六甲山に登って、1,000 万ドルと言われる神戸の夜景を楽しむことができる。難しいかもしれないが、摩耶山、六甲山の活性化が神戸の観光の再興にも大きな役に立つ。また、摩耶ケーブルも六甲ケーブルも現在は夏でも 20 時には運行が終わってしまい、摩耶山に行って夜景を見ようという環境にない。函館では 22 時過ぎまで運行している。今後交通アクセスをしっかりとやるということになれば、摩耶ケーブルや六甲ケーブルの営業時間を少し延長するという可能性も出てくるのではないかと。それが実現すると、有馬ロープウェイを使って有馬温泉へ行き、また有馬温泉から六甲山へ行くというルートも出てくるので、是非ともよろしくお願ひしたい。

(市長)

議長がおっしゃった大半の話は、神戸市がやらないといけないことであり、よく検討したい。広域観光という面では、大所高所から県のご支援をいただければと考えている。

(知事)

それに関連して、風致条例の見直しを是非やっていただきたい。これは側聞していることだが、六甲山ホテルが阪急から大阪の外車ディーラーに所有権が移り、改築しようとしているが、なかなか話が前に進んでいないようである。それは何故かという、風致条例で厳しく指導を受けていて計画が前に進まないようである。是非その辺りの弾力化を検討いただきたい。これは一つの試金石になると思うので、是非検討をお願いしたい。

(市長)

乱開発は防止しないとイケないが、規制が不合理であれば遊休施設の活用が進まない。自然公園法で規制のある部分は環境省に要望するとして、神戸市が行っている規制で不合理な部分は見直していくということで対応したい。知事がおっしゃったことについては、まだ情報が十分共有できていないため、よく話を聞いて対応したい。

(鳥居副市長)

今、市長が説明した通りで、神戸市としてもできるだけ活性化に向けて整合のとれた形でやっていきたい。これまでもある程度柔軟に運用してきているが、運用基準に色々とばらつきもあり、この際できるものとできないものをはっきり決めて運用していければと考えている。今後具体的に検討させていただく。是非前向きに取組ませていただく。

### (3) インバウンド拡大に向けた取組

(市会副議長)

国がインバウンドの数を 4,000 万人まで増やすということで、観光振興施策に本腰を入れている。このチャンスを活かさなければ、次はないと考えている。

初めて日本に来る外国人観光客は大体ゴールデンルートに行くが、行ってしまふからと諦めている場合ではなく、やはり最初に来る時に神戸、兵庫に引っ張ってくるということが非常に重要なことだと思う。それでもやはり大阪、京都は強いので、一つは神戸を宿泊観光の拠点にして、そこから兵庫県内を観光してもらうこと、もう一つは姫路を拠点にして観光客を誘致するという、この二つのポイントがあると考えている。これらに関する協調は既にやっておられるけれども、さらに本格的にやっていただくと効果が大きく出るのではないかと思う。

また、インバウンドだけではなく、大阪圏の日帰りの観光客を誘致するには、神戸の市街地はもちろん、兵庫県では篠山市が日帰り観光のポイントの一つになっており、現在北神にあるアウトレット、ここは 650 万から 700 万人くらい集客をしており、来年 3 月には道の駅もオープンする。この、篠山市とアウトレットを組むような、またそこに有馬を加えるような感じで、観光ルートは色々作っていきけるのではないかと考えている。各都市の魅力を発掘し直し、細かいルートを京阪神の人に提供していくということも重要だろうと思う。これは神戸市だけではできず、兵庫県の理解と協力がないと進まない、よろしくお願ひしたい。

それともう一点、大阪が府と市の二重行政の解消に色々な面に取り組んでいる。もちろん神戸市と兵庫県でも取り組んでいるが、やはり大阪府市のレベルまでは達しないといけないうと考へている。特に、具体的な話が出ている県営住宅と市営住宅については、他団体にできて神戸市でできないはずはなく、ゆっくり進めるのではなくて、スピード感を持って一元管理までやっていくということで、力強く進めていただきたい。

それから、震災当初から復興の間は、周りの人は神戸に対して温かい気持ちで見ていたと思うが、20 年が経過し、やはり観光や都市のイメージということから考えれば、そろそろ地震のあった地域というイメージから、新しい未来に向けたイメージづくりが大事になってくる。神戸港開港 150 年や兵庫県政 150 年が一つの節目になると考へており、この両行事は新しい神戸・兵庫のイメージ作りに大切だと思うので、是非これらを利用してイメージアップ、またイメージチェンジを図っていただけたらと思う。

(知事)

広域観光は非常に重要である。せっかく神戸に来て、神戸だけで帰ってしまうということになると、いわばゴールデンルートにだけ来て神戸に立ち寄らないのと同じことが、県内で起こってしまうことになる。どういう形で広域観光ルートを提示するかということがあがるが、例えば日本遺産

には篠山市がデカンショ節とともに形作ってきた人々の生活ということで指定され、淡路島も国生みの島・淡路、海人の活躍という形で指定されている。神戸はその真ん中に位置し、姫路城は外国人から見た一番のホットスポットになっている。また最近、城崎温泉は大変人気が出ている。このように観光拠点は沢山あるので、それらをどう結ぶかにさらに磨きを掛けていかなければいけない。モデルコースをもっと沢山提示して、SNSなど、口コミとインターネットを通じてPRしていくことが大事ではないかと考えている。

そういう意味では、Wi-Fi 環境を整備するのも一つ大きな対策になると思い、力を入れている。県の施設は基本的には Wi-Fi 環境を無料で提供しており、これをさらに増やしていかなければいけないと考えている。

また、ミシュランのグリーンガイド、兵庫県のグリーンガイドのウェブ版を 12 月 16 日から発信することにしている。これからはやはり体験型の観光で、何をどう体験させるかを付加していくことが非常に重要である。姫路城が人気なのは世界遺産だということだけではなく、6 階の天守まで上がるのが面白がられているからである。それから、城崎などは浴衣を着て、外湯巡りをするのが人気になっている。こういう体験型をどんどん取り入れていくことが大切である。神戸だと神戸ビークのバーベキューをするようなコーナーを作るとか、シドニーを真似れば明石海峡大橋の下辺りになるが、私はいつもフィッシャーマンズワーフを作らなければいけないということを提案している。いわば神戸らしさをもっと打ち出せるような観光スポットを作りながら、それを繋いでいくということが必要ではないか。

また、北野については、よくあれで観光客が来てくれているなという思いがある。北野には朝早くから中国の方や台湾の方が来ているが、どういう感想で帰られているのだろうかということ考えた時に、もう少し何か体験型の場面があってもいいのではないかという気がする。パリのモンマルトルの丘は似顔絵師がたくさんいる。北野には似顔絵師はいないと思うが、そのような意味で、どう賑わいを作るかの工夫がもっと必要だと思う。これは兵庫県と神戸市が一緒にやっていかなければいけないと思っている。

(市長)

知事がおっしゃったモデルルートの例として考えられるのが、神戸市の北部と北摂丹波地域をまたぐコースではないかと思う。もちろん姫路城、それから城崎温泉、竹田城、神戸では有馬温泉というような有名観光スポットがあるが、神戸市の北部にもフルーツフラワーパークがあり、以前は神戸市の大変なお荷物だったが、ホテルがうまくいき、道の駅もまもなく開業する。アウトレットにはものすごい数の人が来ており、その人々に道の駅から神戸市の農村地域、淡河や大沢、八多などの文化遺産を回ってもらうルートや、三田の田園地帯や有馬を結びつけるなど、市の境界を越えた観光ルートも考えられる。今後、兵庫県のご支援もお願いしたい。

北野については、私は非常に良い雰囲気だと思っており、満足して帰っていただいているのではないかと思う。東京でリサーチしたところ、神戸観光の特色はリピーターが大変多いことと、満足度が大変高いことである。ところが、意外と全国の観光地の中で神戸が埋没していて、初めて行くというときの旅行先に神戸が挙がらないという独自の調査結果もある。いずれにしても、外国人観光客の満足度にも気を付けていきたい。

(知事)

土日だけでも構わないので、北野を歩行者天国にできないか。車を入れずに、バスも歩行者天国の入口で降ろして、新神戸の坂を下りた辺りで乗せるといったイメージで考えてはどうかと思う。そうなると地域住民の方が困ると思うが、そこはご協力いただいて、是非歩行者天国化を検討していただけるとありがたい。

(市長)

春に開催しているインフィオラータの時には歩行者天国にしている。今後検討するので、もし具体化したら警察本部へのご配慮をよろしくお願ひしたい。

#### (4) 神戸開港150年記念事業

(知事)

県政150周年を期して、初代県庁を記念する施設を整備したいので、是非土地の手当てをお願いしたい。初代県庁の敷地自体は兵庫運河になっており、同じ所には建てられない。できれば運河沿いが良いが、それが少し難しそうである。今後、中央卸売市場の冷蔵施設が動いた跡地も初代県庁記念施設と一体的に活用できることを前提にしながら、記念施設を冷蔵施設の裏側(東側の空き地)に整備するという含めて検討させていただきたい。

(市長)

兵庫区、長田区の南部の活性化は大変重要な課題で、イオンが来年6月に開業するため、それに合わせて兵庫運河をどうするのかと考えた時に、中央卸売市場の冷蔵施設がある辺りをどうするのかということは非常に大事な話である。記念施設を作っていただけるのは大変ありがたい話であり、どのような土地利用や施設構想があり得るのか、神戸市も当然のことながらぜひ一緒にやらせていただきたい。

#### (5) 三宮再開発

(知事)

三宮再開発については、もう3年から4年かけて理念の議論をしてきたため、基本方向はまとまっていると思われる。あとは具体的なプロジェクトをどのように進めていくか、ポンチ画でも良いので市民にどんどん示していただければありがたい。せっかく特定都市再生緊急整備地域になったので、私は以前から三宮の駅前の交差点の道路上に大規模なビルを建ててはどうかとやってきたが、制度的にはこれも建てられるようになったと思うが、是非具体的な対応をできるだけ早く示していただきたい。兵庫県としても何をどう協力すればいいか、検討がなかなかついていかないという状況である。

(市長)

お配りしている都心三宮アクションプランに、この5年の間にどこまで進むのかを記載している。以前から知事にそういうお話をいただいていたので、十分なお答えができていのかどうか疑問はあるがアクションプランとして作っている。ページを開いていただければ、それぞれのプロジェクトが年表風になっており、28年から33年までどこまでできるのか書いている。この熟度を上げて

いくということだと思うが、特定都市再生緊急整備地域に指定されたため、この制度を使いながら、計画を深化させていくということだと思う。

(知事)

スピード感が足りないのではないかという感じがしている。

(市長)

やれるところはやるが、空き地が全然ない。そのため、一つ一つ動かしていかないといけない。十分に関係者の合意を得ながら進めないと、結局は手戻りになるため、スピードアップは必要だが、関係者の合意を得ながら進めることが大事であると考えている。

(知事)

市自らできることがかなりあるはずだ。自らできることをどんどんしていかないと、市民から見ると「三宮再開発」と言われていても、全然進んでいないという印象を与える恐れがある。例えば市長がおっしゃっていた、中央区役所の移転も、具体のスケジュールに乗せた方が良いのではという気がする。そうしないと目に見えてこないということを心配している。

(市長)

よく理解できる。私も知事と同じ気持ちである。実際にやっている側から言うと、例えば様々な都市計画法上の規制をどういう手順で変えていくのかということもあるため、スピード感を持ってやりたいと思っているが、その一方で、関係者、市民の理解を得てやっていくことも必要である。

もともと中央区は、生田区と葺合区が合併してできた区であるため、合併してから相当年月が経っているとは言え、その当時の経緯なりがいろいろとある。そういう過去の経緯なりを勘案しながら、十分慎重にかつスピード感を持って進めていきたい。

#### 4. 知事 閉会あいさつ

ざっくばらんな会合にさせていただいて感謝している。こういう会議で回答を出すのはなかなか難しいが、課題を共有することはできる。今日は、いろんな課題を共有することができたのではないかなと思う。課題が共有できれば、解決に当たっても協働しながら解決していけると思うし、できると確信する。そのような意味で、これからも、神戸市の課題、兵庫県の課題はあるが、一緒になって推進させていただければありがたいと思う。本日は、本当にありがとうございました。

#### 5. 市長 閉会あいさつ

知事がおっしゃったように、いろんな課題の共有ができたと思うし、共有ができた以上は、やはり課題の解決に向けて、この会議が開催される前よりも、さらに加速させることができる条件が整ったと思う。ご指摘いただいたことも十分踏まえ、神戸市としてやらなければいけない作業をしっかりと加速させていきたいと思っている。どうもありがとうございました。